

わかすぎ

vol.135 2014.2



公益財団法人
三重子どもわかもの育成財団
三重県立みえこどもの城

〒515-0054
三重県松阪市立野町1291
中部台運動公園内
TEL 0598-23-7735 FAX 0598-23-7792
ホームページ <http://www.mie-cc.or.jp>



10月18日
0歳からのお星さまと絵本と音楽の世界



11月1日
皇學館大学との連携協定



子ども虐待防止

オレンジリボンキャンペーン
みんなで子どもの笑顔を守ろう

11月16日 皇學館大学ユースプロジェクト企画
「オレンジみこしてわっしょい!」で
子ども虐待・いじめ防止をPRしました。
私たちは子どもの笑顔を応援します!



12月1日～1月26日
ウインターイルミネーション



12月14日
松尾まちづくり協議会との連携協定



12月14日
ロボカップジュニア東海ブロック大会



12月14日・15日
第13回全国児童館・児童クラブ大会
東北復興支援フォーラム



2月8日～3月11日
3.11 ぼくたち・わたしたちができること展



2月8日
クライミング選手権



12月15日
「家庭の日」絵画・ポスター展表彰式

Playback 10～3月



財団のシンボルマークができました!

地域社会の大きな枝葉が、子どもや若者や家族を温かく包み込むように支えるマークとなっています。中心の円の三色はそれぞれ黄色は「子ども」、橙色は「若者」、青色は「家族」を表しており、地域社会とともに育成支援をしようという当財団の思いを表しています。

公益財団法人三重こどもわかもの育成財団は 地域みなさんとともに 子どもや若者を応援します!

連携協定を
結びました!

皇學館大学と連携協定を結びました!

11月1日、当財団は、皇學館大学と児童・青少年の育成と次代を担う人材育成に向けた連携協定を結びました。みえこどもの城で行われた調印式では、太田理事長と清水学長が協定書に調印しました。また、この協定に先駆けて、6月から活動を開始しているユースプロジェクトの代表も同席しました。清水学長は「活動を通して学生の人間的な成長を期待します。大学として地域社会に貢献する一環としたいです。」と語り、太田理事長は「新しい仲間が増えたことは喜ばしいことです。地域の要として協定を育てたいです。」と握手を交わしました。協定に基づき今後は大学生が若者の視点で職員とともに子育て応援イベントなどを企画・実施していきます。



調印式での清水学長と太田理事長

松尾まちづくり協議会と連携協定を結びました!

松尾地区は、三重県立みえこどもの城が立地する地元で、財団やみえこどもの城運営では常日ごろから何かとお世話になっています。この様ななか、12月14日、当財団と松尾まちづくり協議会は連携協定を結び、日頃の協力関係をより深め、子どもたちを元気にする取組をさらに充実していくこととしました。

協定の締結式が行われたのは、松尾まちづくり協議会による地元松尾小学校の「地域開放型図書館」開館式典の場でした。子どもたちのためにという思いにあふれた地域の方々が大勢参加されており、今後は財団も一緒に子どもの育ちを支援していきます。



協定を取り交わす村田会長と太田理事長

column

理事長
コラム



理事長 太田栄子

子どもや若者の元気あふれる姿は大人たちの喜び。わが財団の使命は、地域の方々とともに、子どもや若者育成の輪を広げることです。そのためには、感動をともにする場づくりで、もっと地域の中に溶け込みたいと思います。今回協定を結んだ皇學館大学、松尾まちづくり協議会のみならず、日ごろの取組から財団も多くのことを学びたいと思います。そして、次世代を担う子どもや若者が大人となって、また次の時代の子どもや若者を温かく育んでくれる、そんな嬉しい連鎖をつくっていききたいと思

オレンジみこしでわっしょい!



11月16日に「ユースプロジェクト」第1弾の取組として、三重県の「子ども虐待防止啓発月間」に合わせたイベント「オレンジみこしでわっしょい!」を実施しました。

手作りのみこし3基は、当日までに、みえこどもの城の来館者、地域の方々、みえこどもの城応援企業など様々な

方々の子ども虐待防止へのメッセージで埋めつくされました。

鈴木知事から「子ども虐待は許さない」という熱い呼びかけの後、応援に駆け付けてくれた企業、保護者、地域の方々が見守るなか、オレンジみこしが練り歩きました。掛け声とともに松阪市立第二小学校「第二子結太鼓」のお囃子が中部台運動公園に響きました。

みこしの他にも、応援に駆けつけていただいた企業・団体による炊き出しや餅つき、よさこいや太鼓演奏などが行われ盛りあがりました。

参加した大人たちは、たくさん子どもたちとふれあい、「子どもたちの未来を守りたい」「虐待を見逃さない」という決意を新たにしました。来年度もちろん開催します。

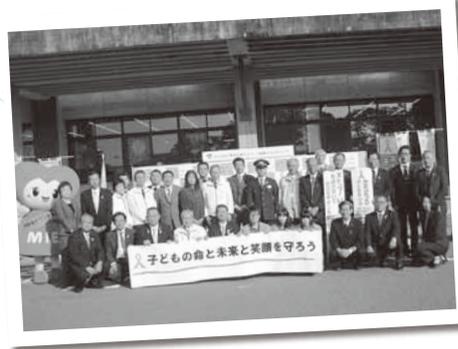
◆ご協力いただいた企業・団体紹介◆

- 岡三証券株式会社、東京海上日動火災保険株式会社
- 橋本電子工業株式会社、株式会社ジェントリー
- 株式会社ぎゅーとら、シックスアグリ株式会社
- 有限会社野瀬商店、株式会社おやつカンパニー
- 松阪ケーブルテレビ・ステーション株式会社
- 旭電気株式会社、三重県助産師会、松阪子どもNPOセンター
- 松尾まちづくり協議会、地元有志のみなさん
- 松阪市立第二小学校「第二子結太鼓」
- 松阪笑舞連、中部大学すくすく隊、皇學館大学（順不同・敬称略）



「三重県子ども虐待・いじめ防止キャンペーン」キックオフセレモニーで宣誓! 11月1日

11月の「子ども虐待防止啓発月間」の初日、県庁正面玄関付近で行われたキャンペーンのキックオフセレモニーにユースプロジェクトの代表も参加し、参加者を代表して虐待を許さない決意を込めて宣誓しました。



一日も早い復興を! みんなの思いを東北に

第13回全国児童館・児童クラブ大会

東北復興支援フォーラムに参加して

子どもたちと触れ合って

「東北復興支援フォーラム」として開催された第13回全国児童館・児童クラブ大会。子どもたちを応援しようと全国各地の児童館が大集合。当財団からは、私「たにがわハカセ」と「助手」2人が工作などの「遊びの公開ラボ」に参加しました。「たにがわハカセ」の威信(笑)をかけて、前夜ぎりぎりまで改良を重ねたスカイシャトル(5ページで作り方を紹介)。高くあがりキラキラ輝きながらゆっくり舞い降り、子どもたちの笑顔がはじけました。喜んでくれて本当に良かったです。やったー!(サテライトこどもの城担当:谷川)



みなさんの応援の気持ち届けました!

みえこどもの城に来館されたご家族から、昨年7月の「キッズおしごと広場(inみえこどもの城)」や11月の「オレンジみこしでわっしょい(子ども虐待防止キャンペーン)」に参加いただいた企業など参加者のみなさんから、そして当財団職員からの義援金を福島県児童館連絡協議会野中会長にお渡ししました。子どもたちを元気にする活動に役立てていただけるそうです。ご協力いただいたみなさん、ありがとうございました。(三重県立みえこどもの城館長:宮崎)



企画展 3.11 ぼくたち・わたしたちにできること展

平成26年2月8日(土)～3月11日(火) 三重県立みえこどもの城

あの3月11日から3年、被災地の子どもたちはどうしているでしょう。そして、日本中の子どもたちは何を考え行動したでしょうか。「決して忘れない」、「明日に向かって」との思いを込めて、3年を振り返り「ぼくたち・わたしたちにできること」を考えてもらいたいと企画しました。その一部を紹介します。(企画協力:松阪市立中部中学校)



特別イベント 松阪市立德和小学校3年生児童の群読による東日本大震災から学んだこと

今年度、徳和小学校の3年生の皆さんは、総合学習の時間に東日本大震災のことを学んできました。この一年間学んだことを群読、合唱、リコーダー演奏で発表してくれました。「今、私たちにできることは東北地方の人たちを想い続けること」クライマックスにさしかかり「花は咲く」の合唱のころには、目に涙の大人たちも。大人も忘れてはいけないと、子どもたちから教えてもらった心に残るイベントでした。

展示内容

僕らは今を生きている

写真展示(協力:財団児童健全育成推進財団)

大きな被害を受けた岩手県釜石市、大船渡市、宮城県気仙沼市の合計6つの児童館、児童クラブの子どもたちの写真パネル。カメラマンの「そこが被災地といわれていても、子どもたちの笑顔は、明日を照らす光となっていました」という言葉どおり、見ているほうが勇気をもらう写真です。



展示内容

ふくしまのこどもたちの2年半

写真・映像展示(協力:福島県児童館連絡協議会)

震災から3年、懸命にがんばる大人たちを支えてきたのは、全国のたくさんの人とつながりとともに、子どもたちの笑顔でした。その笑い声に大人たちは勇気づけられ、こどもたちが楽しい時間を共有できる地域の集いの場づくり、児童館の復興に向け一歩ずつ歩んでいます。



展示内容

石巻日日こども新聞の紹介

石巻日日こども新聞は、震災1年後の平成24年3月11日から一般社団法人キッズ・メディア・ステーションが3か月に1回発行しています。記事は、小学生から高校生までの子ども記者の取材によるものです。子どもたちの「ふるさと石巻」を愛する気持ちが胸を打つ新聞です。平成25年9月、12月発行分がこどもの城にありますのでお分けします。是非読んでみてください。



展示内容

はるかひまわり～石巻のひまわり～全国のひまわりへ

阪神大震災で、はるかちゃんのなくなった場所に咲いたひまわりは、「はるかひまわり」と名付けられました。その種は石巻市にも届けられ、ひまわりを通じた「絆」づくりが全国へ広がりました。三重県の学校でもたくさんのひまわりが植えられました。



展示内容 「第2回ふくしま星・月の風景フォトコンテスト」写真展示(協力:郡山市ふれあい科学館)
「南海トラフ巨大地震に備えて」パネル展示(協力:国土交通省紀勢国道事務所)

みえこどもの城ってこんなところ!



ボランティア、団体利用

みえこどもの城では、様々な趣味や特技を持った約100名の登録ボランティアさんが個性を活かして、イベントの運営を支えてくださっています。ボランティアをしてみたい!という方は、ぜひご連絡ください!



担当: さっちゃん

団体は、学校や子ども会でのご利用をはじめ、企業や老人会など大人の方のご利用也大歓迎です。20名様以上で、ご利用の際は、事前に申し込みをお願いしています。

1F エントランス、前庭

3F ミニ美術館、回廊

こんにちは! エントランスでは、みなさんを笑顔でお迎えします。こどもの城の楽しみ方を聞いてくださいね。前庭では、皿回し、ディアポロなどに挑戦する子どもたちの歓声が飛びかいます。



担当: まりさん

ミニ美術館と回廊では、子どもたちの笑顔の写真展、海外と日本の子どもたちの巡回展、「家庭の日」絵画・ポスター展など楽しい作品がいっぱいです。みなさんもぜひご覧くださいね。1日ゆったりとみえこどもの城でお過ごしください。



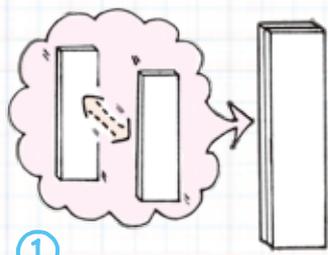
サテライトこどもの城

たにがわハカセ プキプキ工作

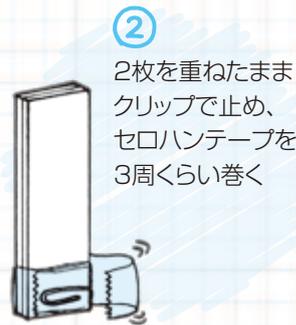
「スカイシャトル」をつくらせて飛ばそう!

材料・道具

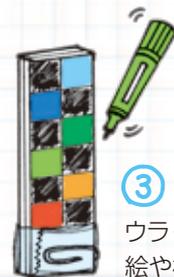
- スチレンペーパー (縦11cm×横2.5cm・厚さ1mm)
- クリップ・輪ゴム
- セロハンテープ・マジックインキ



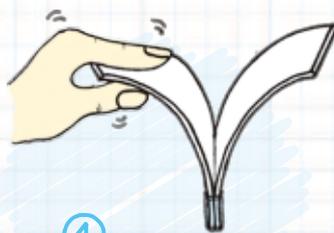
① スチレンペーパーを2枚重ねる



② 2枚を重ねたままクリップで止め、セロハンテープを3周くらい巻く



③ ウラ・オモテに絵や模様を描く



④ スチレンペーパーを反らせる



⑤ 輪ゴムを指に引っ掛けて、シャトルを引っ張り、上に向け飛ばす



松阪ケーブルテレビ・ステーション株式会社さんとの協働企画

『たにがわハカセのつく作ってみよう!』毎月、放送しています。

「サテライトこどもの城」事業として、おもしろい遊びを地域に出前しています。お手伝いして下さる“遊びの達人さん”、“子どもと遊ぶの大好きさん”を募集しています。

詳しくは

TEL.0598-23-7735

～子どもたちの未来へつながる人権～

1959年「児童の権利宣言」があり、20周年。世界中の人が子どもの権利について考える機会になった1979年の「国際児童年」があります。1989年「子どもの権利条約」が、国連で採択され、1990年国際条約として発効しました。日本は1994年4月22日に批准し、1994年5月22日に発効しています。



～三重県子ども条例前文より抜粋～

「私たちは、児童の権利に関する条約の理念の通り、子どもの権利が尊重される社会の実現を目指すこととする。そのため、私たちは相互に連携し、協働して、子どもが豊かに育つことができる地域社会づくりに取り組むことを決意し、この条例を制定する。」

ユニセフは、活動の計画をたてる時、考えることを次のように示しています。

1. 「子どもにとって一番よいことを提供する」
2. 「差別がないこと(住んでいる地域や性別、年齢などによって損をしたり、差別をされたりしない)」
3. 「子どもの命と健康を守るためのプログラムに力を入れる」
4. 「子どもの意見や考えを生かし、いろいろな場面で子どもが参加できるようにする」

などです。このように考えることは、大人社会の義務であり、子どもたちにとっては権利です。三重県では平成23年に「三重県子ども条例」が施行されています。

人権の問題は、「私には関係ない」ということはひとつもなく、いつでも、どこでも、誰にでも関係のある話として考える必要があります。また、子どもたちの未来へつながるためには、子どもの人権や子どもの権利を考えることにより、私たちの世代が生まれたときよりも少しなりともよくして次の世代につないでいく必要があります。当財団は、様々な遊びや体験学習の機会を提供することで子どもたちの健全な育成をめざします。なお、子どもの権利条約は当財団のホームページからもご覧いただけます。

平成25年度「家庭の日」絵画・ポスター展 表彰式

三重県内の小学校・中学校(65校)の393作品から、知事賞・理事長賞・奨励賞・みえこどもの城館長賞の21作品が選ばれ、平成25年12月15日(日)、みえこどもの城において表彰式が行われました。作品をスクリーンに投影して受賞者にコメントをいただきながら表彰しました。

絵本朗読会



特別ステージ



表彰式

次のところで展示をしました!

- 三重県立みえこどもの城(H25.11.16～H26.1.15)
- 三重県庁1F県民ホール(H26.1.16～H26.1.23)
- 三重県立熊野古道センター(H26.2.1～H26.2.9)

表彰式に引き続き、松阪市在住の童話作家村上しいこさんによるスクリーン投影の絵本朗読会が行われました。新作絵本「まだだよまだだよ」は梅干しをめぐるおばあちゃんと孫の「わたし」のお話。つい忘れがちな、待つことの楽しみを思い出させてくれる素敵な絵本でした。さらには、津市在住フルート奏者安達聡子さんの心地よい演奏で受賞者や来館者の皆さまにもゆったりとしたひとときを過ごしていただきました。

平成25年度 公益財団法人 三重子どもわかもの育成財団表彰

平成26年1月30日(木)開催の審査会で、次の方々子ども若者の育成支援に関し、特に顕著な業績があると認められました。3月6日(木)三重県青少年育成市町民会議連絡会において表彰します。

受賞者紹介(順不同・敬称略)

個人		(青少年の部)
名張市	吉住 誠弘	よしずみ まさひろ 名張市のジュニアリーダーの頃から現在に至るまで、子どもたちへの体験活動サポートやキャンプでの指導等を行っている。近年は、「名張kidsサポータークラブ」を設立し、若者ボランティアの活動の場の拡大やリーダー育成にも取り組んでいる。
指導者の部		(指導者の部)
尾鷲市	堀内 達也	ほりうち たつや 尾鷲市青少年育成市民会議の副会長及び会長として、尾鷲市の12の町民会議をまとめ、地域間交流行事、非行防止活動等に取り組み青少年の健全育成に取り組んでいる。
紀北町	東 眞佐夫	ひがし まさお 旧長島町を起点にし、紀北町青少年育成連絡会議等を中心として、あいさつ運動や子ども対象の研修、青少年健全育成の啓発活動など青少年の健全育成に取り組んでいる。
紀北町	氏家 稔之	うじえ としゆき 旧海山町を起点にし、紀北町青少年育成連絡会議等を中心として、あいさつ運動や教育講演会、環境浄化活動、青少年健全育成の啓発活動など青少年の健全育成に取り組んでいる。
団体		(団体の部)
亀山市	二之丸塾	に の まる じゆく 「二之丸塾」は、亀山市西小学校区の児童や地域の青少年に対して、地域のおとなや学校が情報交換をしながら、環境浄化、多文化共生等の体験活動に取り組んでいる。また、子ども・保護者・地域の人たちの「生の声」を受け止めるため「二之丸目安箱」を置き、多くの人からの意見を反映しながら継続している。

平成26年度「中学生のメッセージ2014」

日ごろ感じていることや考えていることを応募してみませんか？

募集案内

- 応募資格** 県内の中学生および中学生の年齢に相応する方
- 提出先** 各中学校を經由して、当該地域の青少年育成市町民会議まで
- 提出期限** 平成26年6月6日(金)

※最終選考に残った優秀作品は、平成26年8月23日(土)、桑名市民会館にて発表していただく予定です。そこで最優秀賞等が決定されます。応募方法など詳細については当財団ホームページを参照してください。作品応募者全員に参加賞を贈呈します。また当事業に対して協賛していただける企業・団体を募集しています。



みえこどもの城地域協働企画

むかしあそびっておもしろい!!

- 日時** 平成26年3月21日(金・祝)～5月18日(日) 9:30～16:30
- 場所** 三重県立みえこどもの城 1F イベントホール
- 内容** ホール一面の「大すごろく」をしながら、コマ回しやお手玉など様々なむかしあそびが体験できます。クリアできたら「むかしあそびの達人」証明書とむかしあそびグッズをプレゼントします。
- 募集** 期間中、週末に子どもたちとむかしあそびをしていただけるボランティアを募集しています。詳しくは当財団までお問い合わせください。



◆ オープニングイベント「むかしあそびの達人大集合!」◆

- 日時** 平成26年3月21日(金・祝)・22日(土) 10:00～15:00
- 場所** 三重県立みえこどもの城 玄関前、屋外円形広場他
- 内容** 地域のむかしあそびの達人が竹とんぼや竹馬やコマ回しなど様々なむかしあそびを子どもたちに伝授します。



入選作品決定!!

平成25年度

「家庭の日」絵画・ポスター展

知事賞

「とうちゃんのぶどうばたけ」



松阪市立伊勢寺小学校 2年
佐久間 琳大朗 さん

「おばあちゃんの
キュウリは最高です」



松阪市立阿坂小学校 6年
沼田 芽依 さん

「みんなも作ろう『家庭の日』」



松阪市立殿町中学校 3年
南 佳澄 さん

理事長賞

「かぞくでピクニック」



鈴鹿市立一ノ宮小学校2年 深田 尊垂 さん

「みんなでおふる」



津市立南立誠小学校2年 尾鍋 亜美 さん

「松名瀬に行ったよ」



松阪市立第四小学校4年 中津 さくら さん

「鳥取砂丘は暑かった」



松阪市立中川小学校5年 辻 悠花 さん

「みんな笑顔」



桑名市立光陵中学校2年 伊藤 晴紀 さん

「一番大切なのは?家族でしょ!!」



四日市市立三重平中学校2年
金城 びびあん さん

みえこどもの城 館長賞

「サルビアの家族愛」



鈴鹿市立大木中学校3年 樋上 明莉 さん

奨励賞

- 松阪市立花岡小学校1年生 西川 璃虹 さん
「さくらのしたで…」
- 津市立北立誠小学校3年生 藤村 ここね さん
「家ぞくみんなでボーリング」
- 津市立香良洲小学校3年生 西田 幸多 さん
「楽しかった家ぞく旅行、プールさいこう!」
- 松阪市立中川小学校3年生 前野 ここ寧 さん
「夏一番おいしかったスイカ」
- 名張市立桔梗が丘東小学校4年 谷口 葵 さん
「家族の記念写真」
- 津市立立成小学校5年生 肆矢 悠太 さん
「パパと虫とり」
- 伊勢市立有縄小学校5年生 原 かのんさん
「ハイ、ポーズ!家庭の日」
- 松阪市立幸小学校6年生 藤井 麗理 さん
「家族で東京へGO～」
- 鈴鹿市立白子中学校1年生 石崎 麻理奈 さん
「ベストファミリー」
- 鈴鹿市立白子中学校3年生 前田 真彩 さん
「やっぱり家族が一番!!」
- 津市立香海中学校3年生 河口 ちさ さん
「家族みんなで食卓を囲もう」

